

平成22年度 結果の分析及び今後の改善策(案)

( 中間 最終 )

音戸中学校区 校番35 学校名 田原小学校

重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(1年間) 経営目標	l 結果の分析 (結果と課題をこう考えます)	m 今後の改善策(案) (こう改善します(案))
	豊かな表現力を育成する。	<p>対話する力を育成する。 (反応しながら聞く技能を身に付ける) (伝える技能を身に付ける)</p> <p>音読・群読の技能を身に付ける。</p>	<p>うなずきながら聞く児童の達成率は約77%である。話を聞いて、うなずいたり、返事をしたり、質問をしたりする児童は増えてきているが、「質問はありませんか」の問いかけが十分ではなかった。</p> <p>順序や中心を考えて分かりやすく話す児童の達成率は約77%である。国語科での聞く・話す学習が、全校発表の場を多く設定することにより、生きて働く力となりつつある。</p> <p>月に一編以上の詩を覚えることは、100%の達成率である。月の詩の掲示・音読の時間の確保などができていた。</p> <p>教室に響き渡る声で音読できる児童の達成率は93%である。学習発表会・閉校記念行事で群読・発表の機会を設けることで、大きな経験となり、自信を持てるようになっている。</p>	<p>「質問はありませんか」という問いかけを、定着させる。</p> <p>国語科で学習した力の総まとめをする。</p> <p>卒業証書授与式・閉校式など、最後の発表の場で成就感を与える。</p>
	積極的な生徒指導を推進し、生き生きと活動する児童を育成する。	<p>あいさつ返事の徹底をする。</p> <p>たて割り班の活動を充実させ、よさを感じることができている。</p>	<p>あいさつ週間の振り返りで10人以上挨拶をした児童は96%である。あいさつ週間が定着し、声をしっかり出せる児童が増えてきた。</p> <p>名前を呼ばれたら、いつも元気のよい返事ができる児童が95%である。教師の徹底した指導で、児童の返事も定着してきた。</p> <p>お互いの良さを見つけることができる児童の達成率は100%である。わくわくオリエンテーリングを実現することができ、たて割り班の活動が、充実し、児童の満足感につながっていた。</p>	<p>児童の方からあいさつできるように、少し待つようにする。</p>
	豊かな心を育てる。	<p>道徳教育の授業を充実し、感謝の心を育てる。</p>	<p>感謝の気持ちが表れる言葉が自然に出てくる児童が95%である。「ありがとう」の言葉が出てくる場面をよく見られるようになった。</p> <p>全員、家庭で週1冊の本を読んでいる。親子読書の取組も定着してきた。</p> <p>目標のページ数や冊数の90%を達成している児童は90%である。読み聞かせの充実・親子読書などの取組により、児童の読書への意欲・読書の質も高まってきている。</p>	<p>読書の目標のページ数や冊数を意識させる声掛けを大切にし、目標を達成させる。</p>

